
★☆☆ハケン情報・行政ニュース★☆☆

『ワークシェアリングという新時代のスタイルへ』 オフィスタ総務部

12月4日付のオフィスタ・ウィークリー・コラム (<http://ameblo.jp/offista/>) で少々取り上げました課題の続きになりますが、今回はワークシェアリングという新システムについて企業・団体さまへ向けにご相談のお願いも含め書いてみようと思います。よくルームシェアリングやオフィスシェアリングという言葉を目にするかと思いますが、「ワークシェアリング」とは、お仕事そのものをシェアリング(共有)するというオフィスタが現在最も導入したい制度の1つです。

オフィスタははたらくママさんを応援するというコンセプト上、週2～3日の勤務を希望するスタッフさんが多いのが特徴です。ただし月～金曜日までのフルタイムではたらいで欲しいと希望される企業さまにとっては、週2～3日勤務では物足りない、毎日出勤してもらわないと困るといった労働条件で相違し、せっかくのスキルや熱意があっても条件面で折り合わず希望のお仕事に就業できない、受け入れることが出来ないという状況がございます。そこで週3日勤務を希望する方と週2日勤務を希望する方で連携を取って月～金をフルカバーすることにより、企業さまもスタッフさまも相互利益を共有しようというのがこの制度の特徴です。

これまで販売職や接客職ではあたりまえのように行われてきた制度ですが、オフィスタでは一般事務職でこのワークシェアリングを導入したいと思っています。例えば24時間営業のファミリーレストランやコンビニでは月曜日～日曜日の24時間フルタイムではたらくなんてことは不可能です。当然何人～何十人もスタッフで出勤調整(シフト制)で運営しているのはご存じの通りだと思います。しかしながら一般事務職でのワークシェアリングはこれまでほぼ不可能といわれてきました。オフィスタではその原因は何なのか、本当に不可能なのかを調査し続けております。

実際に企業・団体のご担当者からヒヤリングを行い、ご意見や時にはご提案を頂戴し、それらをまとめて問題点の改善やどうすれば円滑なシェアリングが可能になるかオフィスタ独自の観点で研究しております。

一般事務職でワークシェアが出来ない問題点は何なのか?企業さまから特に多かったご意見は、

①引継ぎが困難である

今日どこまでお仕事が進んで、明日はどこから何をすればよいのかの伝達事項が正確に伝わるのかどうか。

②シフト調整が困難である

誰が何日出勤して、何曜日が誰の出勤日なのかを把握するのが大変である。

③出勤日の交替が困難である

お子様の学校行事や急な欠勤の際の振り替え調整がお互いに出来るかどうか。

の3点が9割以上を占めていました。

②と③についてはシェアリング・スタッフ同士がどれだけコミュニケーションをお互いに取り合えるかが鍵になります。お友達同士で同じ職場ではたらくきたいという「お友達シェアリング登録」など、既にコミュニケーションが確立されている同士でのシェアなどでの向上手法は考えられます。

しかし①についての対処法ははっきりとした答えは出せていません。是非、有効な解決策のお考えをお持ちの方や実際に一般事務職でシェアリングのご経験をお持ちの方がいらっしゃいましたらご教授いただけましたら幸いです。

これまで不可能といわれていたワークシェアを可能にするプランニングにご提案いただける企業・団体さまを求めています。同時に企画・立案・モニタリングにご協力・ご賛同いただける企業・団体さまを求めています。

オフィスタ・ウィークリー・コラムはこちらから。
<http://ameblo.jp/offista/>

オフィスタの派遣ニュース・コーナーでは、お仕事に関する情報や解説、業界関係ニュース、各省庁より発表された行政報道情報をお届けしております。

<http://www.offista.com/press.html>